

神様も人間らしい 愛し方をするんです。



3-4 野部 千夏

今年の九里祭展示は、初の図書委員メンバーだけで作り上げた展示でした。今までには昨年定年退職された司書の大久保さんを中心にしていましたが、今年は三年生図書委員を中心にして、なんとか展示をおえることができました。

今年のテーマは昨年の「直江兼続」から離れ、図書委員にアンケートを取り、「出雲神話」に決定しました。

テーマが決定しても、仕事の全体を把握している人、夏休み中に来る図書委員が少な

く、制作に入るまでに時間が掛かってしまいました。

制作に入つてからは、神々

の系譜をまとめる作業が大変でした。また、神々のイラストをまとめて神様紹介のフレームを作つたり、紙粘土で埴輪を作つたりと図書委員が協力し合うことで無事完成させることができました。

九里祭のテーマ「Change」に基づいて、神話の愛を探してみましたが、どちらもこれも歪んだ愛ばかりで驚きました。調べていて怖さも感じましたが、神様も人間らしい恋をするんだなと思いました。展示した話以外にも沢山あるので、気になる人は図書館に来て調べてみてはどうでしょうか?

く、制作に入るまでに時間が掛かってしまいました。

制作に入つてからは、神々

の系譜をまとめる作業が大変

でした。また、神々のイラス

トをまとめて神様紹介のフ

レームを作つたり、紙粘土で埴

輪を作つたりと図書委員が協

力し合うことで無事完成させ

ことができました。

九里祭のテーマ「Change」

に基づいて、神話

の愛を探してみましたが、ど

れもこれも歪んだ愛ばかりで

驚きました。調べていて怖

さも感じましたが、神様も人間

らしい恋をするんだなと思

いました。展示した話以外にも

沢山あるので、気になる人は

図書館に来て調べてみてはど

うでしょうか?

愛と憎しみのエピソード



イザナミが死んでしまった。約束を破られました。

イザナミは怒り、黄泉の国

の泉津醜女や雷神の軍勢がイ

ザナギを追いかけで来ます。

そして

イザナギは黄泉の國の入

り口で妻の名を呼ぶと、美しい姿のイザナミが現れました。

イザナギは地上へ帰つてくる

と、それらはヤマブドウやタ

ケノコになり醜女はむさぼり

桃の実を投げると雷神も逃げ

ていきました。

なんとか逃げ切れたイザナ

ギは最後にあの世とこの世を

つなぐ黄泉津比良坂に巨大な

石を置き、イザナミに別れを告げました。そして、イザナ

ミは「そんな仕打ちをするなら私は一日に千人殺してやりましよう。」と呪いの言葉を

そうするなら、私は一日に千五百の産屋を建てしましょう。」

と返しました。こうして、黄

泉の國から戻ってきたイザナ

ギは穢れた身を清めるために禊を行いそこからたくさん神

様が生まれてきたそうです。

しかし、それでも熱心にイザナギが頼むので「黄泉の國の神に頼んでみます。私が戻つくるまでは、どんなことがあっても中を見いてはいけません。」と言い、中へ入つていきました。

イザナギは覗いてはいけないと言われたにも関わらず、あまりの遅さに中を見いてしまいました。すると、そこにはウジの湧いた醜い妻の姿がありました。

「なぜ、お前は黄泉の國で生きるの? お前は黄泉の國で死んでしまったはずだ。」

(2)
三校合同読書会

おたのしく著

「バッテリー」を読む

少年の心情の変化を問う

7 / 27
米沢工業高校

二一四

七月二十七日、米沢工業高校を会場に、米工・米商・九里の三校で合同読書会が開かれました。今回のテキストは、幅広い世代の人々に人気がある、あさのあつこ著「バツテリー」でした。

「よつて、どう変わったと思ひますか?」といふものがありました。グループごとの意見の出し合いで「周りの人物の気持ちや行動・自分の気持ちに少しづつ向き合えるようになった。「人との付き合い方が上手くなる。」など、孤高の主人公の巧的心情の変化を上手く捉えた意見が出たようにも思います。その他の質問には、



名著の伝記 <その13>

「沈まぬ太陽」

山崎豊子 著
(文藝春秋)

クラス読書会

6 / 24
(5 · 6 桟時)

3-4 「一〇〇%幸せな一%の人々」

3 - 4 渡辺 美智

幸せは人それぞれ…

私たちのクラスでは「〇〇%幸せな一%の人々」を読みました。少し宗教的な内容も含まれていましたが、部分的に領ける意見もありました。

読書会は、いくつかのグループに分かれ、事前に用意したアンケートを利用して実施しました。最初アンケートの記入時間を設け、その後グループで話し合いを行いました。

「あなたが幸せな人生を送るためには、これからどういう気持ちで生活したい?」という質問には、「何事もポジティブ」や「視野を広げるなど様々な意見が出ました。出された意見に対して、共感することもあるれば、異なる意見が出て討論されたりもしました。

など様々な意見が出ました。出された意見に対して、共感することもあるれば、異なる意見が出て討論されたりもしました。

クラスの人数が多く、最初は読書会以外のことでも賑やかになってしましました。グルーブで取り組む姿勢も異なりましたが、最後の方には全体で真面目に取り組む様子が伺え、良い雰囲気で読書会を終えることができたのではないかでしょうか。

「沈まぬ太陽」は事実を取材して小説的に再構築している。一九八五年に起きた御巣鷹山航空事故は、単独機の事故として史上最悪の死者を出した。この事故を中心には、人の生命に直結する航空会社の社会倫理を問いただすのが本作品だ。主人公は日本航空のエリート社員・恩地元。労働組合委員長を引き受けたところから、会社から十年におよぶ僻地での海外勤務を命ぜられ、不遇の日々を送る。会社に屈せずに立ち向かう恩地の生き様は壮絶であり、安全第一の航空会社に潜む安全を無視するかのような利権主義が空恐ろくなる。

恩地が訪れたニューヨークの動物園「鏡の間」が印象的である。鉄格子を填め込んだ檻の向こうに鏡があり、人間の上半身が映る仕掛けだ。その鏡の上には「世界で最も危険な動物」と記される。鏡に映るのは人間。すべてが真実おこつたことではない。フィクション小説であり事実と異なる部分もあるだろう。だが、この作品は私たちに警鐘をならしているのではないだろうか、人間はここまで墮ちていくことがある、と。



塩竈神社を訪ねて…

図書委員研修旅行

8/15・16

3-2 戸田 裕介



私達は、今年の九里祭展示のテーマ「出雲神話」に関連する神社を見学するため、宮城県の塩竈に行つてきました。

塩竈神社は、陸奥国（東北）最大の神社で、国の重要文化財です。他にも、文化財である文治神燈や文化燈籠、また

日時計もあります。

この神社はタケミカズチノカミ、フツヌシノカミ、シオツチオジノカミが祀られています。シオツチオジノカミは、日本神話で釣針をなくして困っている山幸彦を助言して海神の宮へ行くのを助けた神であり、物知りの神や、また塩竈では塩竈の地に塩の作り方

を伝えてくれた神として有名でした。

また、今回は宿泊先の民宿で「追い込み漁」「刺し網漁」を体験しました。この漁は「鉄腕DASH」で紹介されたこともあります。

「追い込み漁」とは、竹竿

を使い大勢で海面を叩くことで、魚を網に追い込み、網を手繩り寄せる漁です。「刺し網漁」は、目種とする魚種が遊泳・通過する場所を遮断するよう網目に魚の頭部を入れ込ませる（これを「網目に制す」という）ことによって漁獲する漁で、どちらも山に囲まれて生活する私達にはとても貴重な体験となりました。体験漁は正直疲れました。しかし、「出雲神話」がとても身近に感じられる充実した研修旅行でした。

私の好きな主

土 方 歳 三

人

公

司馬遼太郎著

「燃えよ剣」

二一三 山田 真理

二一三 山田 真理



私は中学生の頃から歴史が好きだった。特別詳しいわけではないが、昔の人々の生き方や心情が単純に格好良かつたからだ。中でも、高校に入つて初めて読んだ、司馬遼太郎の「燃えよ剣」の主人公・土方歳三は特に印象に残つてゐる人物である。幕末の、特に新撰組の話では近藤勇や沖田総司も有名だが、私はストリックで自分にも他人にも厳しい「鬼の副長」が一番だと

思う。

前述の通り、土方は非常に厳格な人物である。ルールを破った隊士は仲の良かつた者でも即切腹、という血生臭い事件も多かつた。最初はこんな理不尽な性格が苦手だったが、副長として隊の中で一番苦労し、仲間思いだったのも彼である。五稜郭での決戦時、劣勢にも関わらず一騎で敵部隊へ向かい、ある士官の前で「新撰組副長、土方歳三」と言つた。この台詞を読んで、私は涙が出たのを覚えている。

決して目立たないかもしれないが、土方を見ていると、人間の強さがわかるような気がする。私の信念はまだまだ弱いが、土方のような強い意志を持つた人間になりたいと思つてゐる。



図書館だより

2009.12.18

(4)

I have several hobbies. For example, I enjoy photography, film-shooting, studying Chinese and other foreign languages, playing the piano, singing, and traveling around Japan and other countries. Reading is also one of my hobbies.

Unfortunately, I haven't read so many books since I started working except for English textbooks and Japanese news articles in newspapers and magazines. So I am not sure if I am a suitable person to write this article. But anyhow I decided to write it in simple English.

My preference for books has changed and is still changing as I get older. When I was a child, my parents let me read many literature and biographic books about famous people in the world written by foreign writers. Of course I read the translated versions.

When I was a high school student, I was not given money regularly every month by my parents, but they let me buy books if I chose nice books, not trendy comic books or fashion magazines. At that time, I was always looking for some excitement that I could never get in my daily life. Mysteries written by Agatha Christie, and other English authors let me experience unusual and exciting adventures with their lovely and cool (or sometimes scary) characters. Even when I felt really sad or tired, books made me feel better.

Nice books and respectful characters can be our guides and friends that encourage us to be positive in our real lives. I wish I could read more and more!

図書館 利用マナーについて

3-5 佐久間美里

- ① 夏休みに館内のパソコンが利用できない時期があったことを皆さん知っていますか？利用マナーが守られなかつたため修理に出したからです。改めて、この場で皆さんに図書館マナーについて確認してもらいたいと思います。
- ② 館内飲食は禁止しています。蔵書が汚れる恐れがあるからです。勿論本へ書き込んだり、ページを破つたりして本を汚すこともやめましょう。
- ③ 図書館は静かに利用して下さい。大きな声はもちろん、小さな声でも静かな図書館では気になるものです。常に周りの人に気を配つてください。
- ④ 動画やゲームでパソコンを長時間占有しないで下さい。パソコンは限られた数です。
- ⑤ 蔵書を無断で館外に持ち出さないで下さい。忘れず貸出手続をしましょう。わからないときは、司書の先生か図書委員に聞いて下さい。
- ⑥ 収却期限を必ず守つて下さい。読み終わらないときは何回でも貸出し直して下さい。皆さんか快適に使用できるよう図書委員も努力していきます。ご協力お願いします。

編集後記

今回の図書だよりは昨年よりも少し遅くなってしまいましたが、内容はとても面白いものになっています。今年から先生も変わり、新たな図書委員会として頑張って活動しています。風邪も流行る中、一生懸命作つたので是非読んで下さい。

(3年 赤間)

英語(読書)の楽しみ



定免 文 先生

My wish for reading

私にはいくつかの趣味がある。例えば、写真、映像、外国語の学習、ピアノ、歌や旅行など。読書はその一つです。残念ながら、私が働き始めて以来、英語の教科書や日本の雑誌・新聞の記事以外は読んでいない。なので、私がこの記事を書くのに相応しいかは分からぬ。しかし、私は記事を簡単な英語で書くことにした。

私の本の好みは年齢と共に変わってきた。私は子供の頃、親に世界の偉人の書いた文学や伝記を与えてもらっていた。もちろん、読んだのは日本語訳されたものだ。

高校の時は親からお小遣いを貰つていなかつたが、人気のマンガやファンタジーや、私のためになると思った本は買ってくれた。その時は、私はいつも日常では決して手に入れることができないような刺激的なものを探していた。アガサ・クリスティや他の外国の作家が書いた推理小説を読み、愛らしく、かっこいい（時には恐ろしい）登場人物達と共に私はいつもと違う刺激的で珍しい冒險を体験できた。悲しい時や、疲れている時でも、本を読んで回復した。素晴らしい本や尊敬できる登場人物達は友人のように勇気づけ、人生を前向きに生きるよう導いてくれる。私ももっともっと多くの本を読んで生きたいと思います!!

日本語訳：
3-1 鈴木 一史、3-4 渡辺 美智
3-5 中村 藍莉